



本田哲 議員

土地賃借料や駐車場整備費を市民に負担させることは問題

日本共産党は、今年の3月議会において、多くの市民が利用する埼京線3駅の自転車駐車場は公共性の高い施設であるとして、設備投資を税金で行いながら、その後の運営を指定管理者に任せるという方針には賛同できないことを申し上げた。また、利用料金についても100%の受益者負担とし現状の料金から上限4倍まで引き上げを可能とする条例改正にも反対をしてきた。消費税も物価も上がる中、所得が増えない状況で、利用料金は市民の立場に立って低く抑えるべきと考える。市が指定管理者に求めている「納付金1億円」には、工事費や設計費のほかJRからの土地賃借料や自転車の...

駐車場工事に伴う臨時駐車場整備費などが盛り込まれている。土地賃借料や駐車場整備費に税金を使うことは当然であり、このお金を再び、利用料金として市民に負担をさせることは大いに問題があり、反対する。



石川清明 議員

民間のノウハウを活用したサービス提供や迅速で柔軟な運営を期待

自転車駐車場の指定管理者制度導入に当たっては、指定管理者候補者より、自動ゲート導入による24時間営業やインターネット申請、自転車修理サービス等、民間事業者ならではの、さまざまな新規サービスが提案されているとのこと、利用者の利便性は大きく向上すると考える。また、自転車駐車場は、将来にわたり持続的かつ安定した運営が...

望まれることから、行政改革プランにのっとった受益者負担のもと、適切な利用料金の設定が必要と考える。今回の改修工事に係る経費や市が負担する維持管理費を的確に捉えた上で、現在、指定管理者候補者と利用料金について協議中とのことであり、条例の範囲内で適切な料金設定が行われるものと理解している。平成28年4月1日の自転車駐車場のリニューアルオープンに向け、指定管理者制度導入による民間のノウハウを活用したサービスの提供や迅速で柔軟な運営を期待し賛成する。《結果》原案可決(20対3)

一般会計補正予算

歳出では、公共施設等整備基金積立金の増額、情報セキュリティ対策強化に係る経費及び海外留学奨学事業



望月久晴 議員

目的に合った行程が組まれているのか確認できず

議員の派遣

戸田市議会として、友好都市である中華人民共和国開封市へ議員を派遣することについて、決定を求めているものではないか。

特別会計繰出金の新規計上などです。歳入としては、寄附者からの寄附金及び軽費老人ホーム跡地売り払い収入の新規計上、前年度繰越金などです。《結果》原案可決(20対3) ※委員会審査では、軽費老人ホーム跡地売り払い収入及びIT推進費について意見が分かれました。



平成23年開封市訪問(開封市長との懇談)



山崎雅俊 議員

親書を伝達し、代表団の招聘を図る重要ミッションである

今回の派遣は、開封市に議会代表団を派遣し、戸田市議会として両市の友好交流の懸け橋となるとともに、平成28年10月1日に開催予定である市制施行50...



酒井郁郎 議員

会が挙げた条件を反映したものとっていない

周年記念式典に向けて、市長及び議長の親書を開封市長並びに人民政府代表に伝達するとともに、改めて開封市より代表団や青少年代表団などの戸田市への招聘を図るといふ、いまだかつてない重要なミッションを背負ったものである。海外友好姉妹都市のどちらを訪問するかということや、参加者や日程は、国の違う、相手のある事業であるといった特殊要因を考えると、予算編成時には詳細を決定できないため、あえて本年にわたってから行き先、人員決定となってしまうことは、やむを得ない。訪問費用について、もし私費で非公式に訪問したとしたり、表敬訪問や会議などが全てプライベートなものとなり、何ら公式代表団としての機能を発揮することができない。礼を失しないよう、議会決議を踏まえた公費での訪問が適切であると...



馬場栄一郎 議員

計画作成には当事者の裁量権が認められていくべき

戸田の会は、以前より友好交流の趣旨に賛同しつつも、議員の海外派遣見直しを掲げている。今回の派遣に対し当会派が挙げた条件は、①派遣人数の削減②事前の日程公表、事後報告の充実等、説明責任を尽くすこと③派遣日程中の、受け入れ側担当者との意見交換の実施の3点を、今後の海外派遣における基本的な枠組みとすることであるが、本件は条件を反映したものとならず、やむなく反対する。

今回の開封市への訪問は4年振りの訪問となる。開封市代表と今後の交流のあり方などについて協議し、相互理解と友好関係をより一層促進したいと考えている。また、来年度の戸田市市制施行50周年に向けて市長と議長の親書を伝達するとともに、開封市の青少年代表団の本市への招聘も目的としている。今回の訪問に当たり、戸田市青少年海外派遣団の帰国報告会に、派遣予定議員全員で参加してきたが、改めて相互理解と友好関係のさらなる促進の必要性を認識した。予算要求から派遣が具体的に決まるまで1年近くもあり、派遣が決定される時点での情勢を鑑み、派遣目的や派遣先を決定していくことには、何の問題もないと考える。計画を立てられても、実際には天候や政治問題、治安などの現地の状況等により変更を強いられ...



石川清明 議員

友好交流で友情の歴史を積み重ねていくべきを期待する

議会運営委員会では起立採決の要望を全会派一致して承諾したが、そのときは討論の申し出は全くなかった。にもかかわらず、今回、唐突に反対討論の通告が出された。本来であれば通告を出す前に議会運営委員会を確認すべき事項であった。2番目の反対討論者は議員海外派遣事業の...



平成23年開封市訪問(開封大学の学生との意見交換)

予算計上には賛成の立場をとっていた。今回、反対することは、全く一貫性・整合性がなく、論理が破たんしていると言わざるを得ない。最初の反対討論者は、本来なら目的が先にあり、その上で派遣先、予算、参加議員を決めるべきと言っているが、これまで、さらなる相互理解と友好関係の促進をベースに実施時点の状況を考慮して目的を設定しており、行き...

《結果》決定(16対6)

国際交流事業は大変重要な事業であり、友好交流で友情の歴史を積み重ねていくよう期待し、賛成討論とする。